

いくさか 議会だより

No.

166

令和6年(2024)
7月20日 発行

委員会報告 4-5P
村政そこが知りたい 8P
インタビュー 12P

令和6年6月定例会号

令和6年度
補正予算

〈補正額〉1億6,895万円
〈総 額〉33億595万円可決

補正予算
Pick Up
1

土地改良事業計画

■上生坂万平にブドウ畑整備計画。10年度栽培開始へ



補正予算
Pick Up
2

定住促進住宅建設

■令和6年2月、単身者向け(1LDK)
住宅2棟建設予定

補正予算
Pick Up
3

子ども・子育て支援事業充実

■チャイルドシート・ベビーカー無償貸出事業
チャイルドシート新規購入・月200円→無償化
■お祝いギフト事業
小学校入学前に学用品のプレゼント

6月定例会の流れ

12日 開会
本会議

13日
一般質問

14・17日
常任委員会

20日 閉会
本会議

議案等の審査結果

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…除斥 議長…※

令和6年6月定例会 審議した議案との結果		審 査 結 果	島 幸 恵	山 本 吉 人	藤 澤 幸 恵	望 月 典 子	宇 引 文 威	平 田 勝 章	吉 澤 弘 迪	太 田 讓
報 告	生坂村税条例の一部を改正する条例（専決処分）	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村国民健康保険税条例の一部を改正する条例（専決処分）	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和5年度一般会計補正予算（専決処分）	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和5年度生坂村一般会計繰越明許費について	報告	○	○	○	○	○	○	○	※
事 件 案	生坂村移住者田舎体験ハウスの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
条 例 案	生坂村税条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
補 正 予 算	令和6年度生坂村一般会計補正予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	※
追 加 議 案	生坂村固定資産評価委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	※
請 願	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書」採択を求める請願	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
陳 情	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情	可決	○	○	○	○	×	○	×	※

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…除斥 議長…※

令和6年5月14日臨時会 審議した議案との結果		審 査 結 果	島 幸 恵	山 本 吉 人	藤 澤 幸 恵	望 月 典 子	宇 引 文 威	平 田 勝 章	吉 澤 弘 迪	太 田 讓
事 件 案	建設工事請負契約の締結について	可決	×	○	○	○	○	○	○	※
追 加 議 案	平田勝章議員に対する処分要求について	可決	×	○	○	○	○	—	○	※
	山本吉人議員に対する処分要求について	可決	×	—	○	○	○	○	○	※
	藤澤幸恵議員に対する処分要求について	可決	×	○	—	○	○	○	○	※
	望月典子議員に対する処分要求について	可決	×	○	○	—	○	○	○	※
	宇引文威議員に対する処分要求について	可決	×	○	○	○	—	○	○	※
	吉澤弘迪議員に対する処分要求について	可決	×	○	○	○	○	○	—	※

令和6年度6月補正予算の内容(主な収支)

※数値は四捨五入

■一般会計 〔補正額〕1億6,895万円 〔総額〕33億0,595万円

歳入	歳出
地方交付税 717万円	議会費 59万円 議事録作成業務59万円
分担金及び負担金 1,862万円	総務費 6,271万円 村民会館屋上防水改修工事 869万円 元気づくり支援金事業(いくさか創造の森事業) 616万円 第2のふるさとプロジェクト事業 1,501万円 事業貸付金 1,601万円 調整給付金関係 1,139万円 ほか
国庫支出金 3,015万円	民生費 1,514万円 元気づくり支援金事業(お出かけをもっと楽しく、もっと便利に事業) 43万円、 非課税世帯臨時特別給付金 230万円 チャイルドシート購入 30万円 やまなみ荘浴室・厨房改修工事設計業務委託 990万円 ほか
県支出金 2,221万円	衛生費 △333万円 下生坂南部ゴミステーション修繕料 20万円 ほか
諸収入 1,710万円	農林水産業費 2,584万円 下生坂南部交流センター改修工事関係 130万円 最適土地利用総合対策事業 1,274万円 鳥獣被害防止柵補修(日岐区) 23万円 土地改良事業計画概要書作成業務(上生坂区万平) 300万円 村単水路・農道整備工事 270万円 ほか
村債 7,370万円	商工費 4万円
	土木費 6,543万円 定住促進住宅建設工事関係(上生坂区卒倒坂) 3,236万円 定住促進住宅建設予定地造成工事(上生坂区上手)3,300万円 ほか
	消防費 77万円 気象観測装置改修委託業務 77万円
	教育費 176万円 元気づくり支援金事業(「一星亭」周知・再生プロジェクト事業) 85万円 ほか

議 会 日 誌

(主なものを掲載)

4月

11日 議会だより編集委員会
17日 議会だより編集委員会/道の駅いくさかの郷定例会
18日 県道清掃/やまなみ荘定例会
22日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
24日 「はるかぜ」検討委員会
25日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
27日 道の駅いくさかの郷5周年記念式典
30日 例月出納検査

5月

1日 懲罰特別委員会
10日 議会運営委員会/商工会総会
13日 観光協会総会
14日 議会全員協議会/第1回議会臨時会
15日 生坂中学校バイオリンコンサート
16日 道の駅いくさかの郷定例会
17日 やまなみ荘定例会
21～22日 全国正副議長研修会(東京)
28日 戦没者追悼式/ゼロカーボン推進プロジェクト会議
29日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
30日 「はるかぜ」検討委員会
31日 例月出納検査

6月

1日 小学校運動会
2日 体育協会村長杯争奪前記ゲートボール大会
3日 議会運営委員会/議会全員協議会
4日 社協理事會
6日 地域支援合い推進会議
7日 議会全員協議会
12日 6月定例会 開会
13日 本会議・一般質問
14日 総務建経常任委員会
17日 社会文教常任委員会

18日 やまなみ荘定例会
19日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
20日 本会議・追加議案・閉会議会全員協議会・議会改革検討会
道の駅いくさかの郷定例会
21日 社協評議委員会
23日 松本消防協会ポンプ操法ラッパ吹奏大会報告会
24日 (公財)農業公社評議委員会
26日 議会だより編集委員会/「はるかぜ」検討委員会
例月出納検査
27日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
赤とんぼフェスティバル実行委員会区長合同会議
28日 福祉センター運営委員会
30日 下生野築堤事業起工式

7月

1日 松本広域連合議会運営委員会(松本市)
3日 議会全員協議会
4日 大町ダム等再編事業促進期成同盟会総会(大町市)
8日 松本広域連合議会臨時会(松本市)/学校給食運営委員会
9日 議会だより編集委員会
10日 大町麻績インター千曲線整備促進期成同盟会総会
(筑北村)
11日 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟
会総会(松本市)
12日 長野県町村議会議員研修会(松本市)
16日 議会改革検討委員会
17日 議会全員協議会
19日 やまなみ荘定例会/道の駅いくさかの郷定例会
24日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
26日 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路 長野県側ルート
建設促進協議会総会(大町市)
「はるかぜ」検討委員会
29日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
31日 犀川(生坂・大町・長野間)改修期成同盟会
一般国道19号(生坂・大町・長野間)整備期成同盟会
(長野市)

総務建経常任委員会

生坂村移住者田舎体験ハウスの
指定管理者の指定について

問 申し込みは農業公社1件だけ
だったのか。

答 1件のみ。

問 年間どの位利用しているのか。

答 1カ月単位の長期利用で5組、
短期の利用で、2組、年間で7組が
利用している。



田舎体験ハウス

一般会計予算

総務課関係

問 令和6年度分の議会会議録作
成費用も増額すべきでは。

答 委託先の進捗状況により順次
補正を考える。

問 第2のふるさとプロジェクト
で首都圏を中心とした村外から継続
参加者10名募集とあるが、という
条件で選定するのか。

答 生坂村の観光大使となりえる
方を面接などで決定していく。

問 第2のふるさとプロジェクト
等に合わせて京ヶ倉登山での動植物
等の説明ができる専門のガイドの育
成もしていくべきでは。

答 ガイドの必要性を感じている
ので今後検討していきたい。

問 いくさか創造の森の活動に参
加する対象者は継続参加できる人を
増やすことが事業を推進していくの
に良いのでは。

答 その点も踏まえて参加希望者
を募集していきたい。

問 第2のふるさとプロジェクト、
「生物多様性、ネイチャーポジティ

ブ」などの自然学習を村内の子供達
も対象に行った方がいいのでは。
答 実証しながら今後のプロジエ
クトで検討していきたい。



ニホンカモシカ

問 第2のふるさとプロジェクト
を進め、それをどう人口増加に繋げ
ていくのか。

答 観光大使で村のPRもしなが
ら、これからはUターンで村に戻つ
て来る人を増やすことも考えていき
たい。

振興課関係

問 単身者向け定住促進住宅は
ZEH住宅になるのか。

答 ZEH住宅で建設する。

問 上手地区の定住促進住宅予定
地で周辺の竹やぶや、水が溜まりや
すい場所があるが対応してもらえる
のか。

答 適切な対応していく。



対処を求められる竹やぶ

ZEHとは

「ZEH（ゼッチ・ネット・
ゼロ・エネルギーハウス）」と
は、高効率・高断熱の省エネ
技術と、太陽光発電などの創
エネ技術によって、家庭で使
用するエネルギーと、太陽光
発電などで創るエネルギーを
バランスして、1年間で消費
するエネルギーを実質的にゼ
ロ以下にする住宅のこと。

社会文教常任委員会

生坂村税条例の一部を改正する 条例案について

寄附金税額控除の適用範囲の規定の整備による改正。また、固定資産税の非課税の範囲について、法律改正に合わせて改正するもの。

一般会計補正予算

住民課関係

問 やまなみ荘浴室改修時にジェットバスなど特色が出せないか。

答 ジェットバスはレジオネラ属菌が発生しやすい、衛生管理が難しいため、やらない。

問 やまなみ荘改修に、断熱改修等脱炭素事業交付金が出るのか。

答 今回は交付金に該当しない部分の改修を行うもので、全額過疎債を充てる。

問 定額減税しきれないと見込まれる人に対し、調整給付金が支給されるが、対象人数・額の見込みは。

答 所得税で259名、900万円、住民税で76名、104万円の見込み。

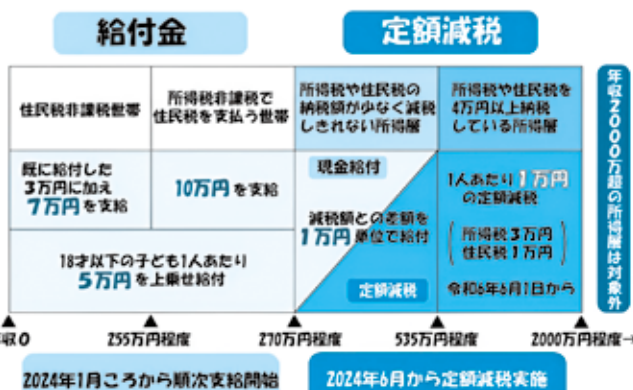
問 定額減税の仕組みが複雑。事

務が煩雑にならないか。

答 システム改修で対象者が分かり、給付額が算定できるようになる。申請書も作成できるので助けになる。

健康福祉課関係

問 非課税世帯臨時特別給付金の対象者は。



答 令和6年度に新たに住民税所得割の非課税世帯になった世帯。対象世帯には1世帯あたり10万円の給付、この世帯に関わる18歳までの子

ども1人あたり5万円の加算金がつく。昨年度対象者は、今回の対象とはならない。

問 元気づくり支援金を使って、公共交通の乗り方を周知する事業が行われている。効果などの検証は。

答 地域支え合い推進会議の中で意見を聞きながら検証して進める。

教育委員会関係

問 子どものための教育・保育給付は公平に給付されているか。

答 金額については公定価格があり、決まりや基準に則って給付している。

問 一星亭の耐震化が出来ないか。

答 建物の活用方法が決まっていなくて、まだお金がかからない。

問 一星亭の資料保存について。

答 保存に資する資料は、きちんと目録を作った上で保存する。

問 村民運動会を行うのが難しくなり、今年からいくさか健康スポーツフェスティバル「いくスポ」が行われる。年間開催数とその財源は。

答 年1回。村民運動会の予算。

問 「いくスポ」を小学校の運動会と一緒で開催できないか。

答 子ども達の発表の時間が削られる、準備が全て学校側になるのでは、との心配がある。今年度「いくスポ」をやってみて、検討していく。

請願

「へき地教育振興に鑑み、へき地手当支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願について

「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書」採択を求める請願について

・請願内容の趣旨に賛同し、国に意見書を提出すべきと決定。

陳情

訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬を引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書について

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情について

・陳情内容の趣旨に賛同し、国に意見書を提出すべきと決定。



5 月 14 日 臨 時 議 会

《議案第 28 号》建設工事請負契約の締結について

内 容：生坂村では5,000万円以上の契約を締結する際には、議会の承認が必要と定められているので、令和6年度予算で計上されている「やまなみ荘」に導入する「木質チップボイラーの建設工事とボイラー購入費用」を合わせた8,140万円の工事請負契約の締結について議会の承認を求めるもの。

反対討論：昨年ボイラー、森林の調査・設計をした成果報告書が出されていない。木質チップを誰がどのようにするのか、いくらかかるのか、事業性・採算性も分からないので賛成はしかねる。5社への指名競争入札だったが、一般競争入札にして広く募った方が安くなったかもしれない。

賛成討論：なし

結 果：賛成多数 承認することに決定 ※左図参照

《追加議案》6名の議員に対する処分要求について

内 容：島議員より平田・山本・藤澤・望月・宇引・吉澤の各議員が提出した決議に対して、不当だとして処分を要求したもの

・懲罰特別委員会の委員の選定は、議会議事規則に則り選出されている。

反対討論：情報発信する1議員に対し、議会の意思として決議を出したことは、法的拘束力がなくとも少数意見者への圧力とを感じる。決議書に名を連ねるとき、同調圧力はなかったのか。懲罰特別委員会では陳述もなく、各議員が決議書に名を連ねた経緯も分からず、審議は不十分と考える。

賛成討論：懲罰特別委員会では、審議にあたる委員が当事者となる為、公平を期するため第三者の意見を求め、「当該決議により議員としての活動が制約されるのでもなく、表現の自由を違法に侵害するものでもないことから、憲法第21条並びに地自法第132条に反する違法な行為ではない」とのご意見をいただいていることから、処分なしでよい。

結 果：賛成多数

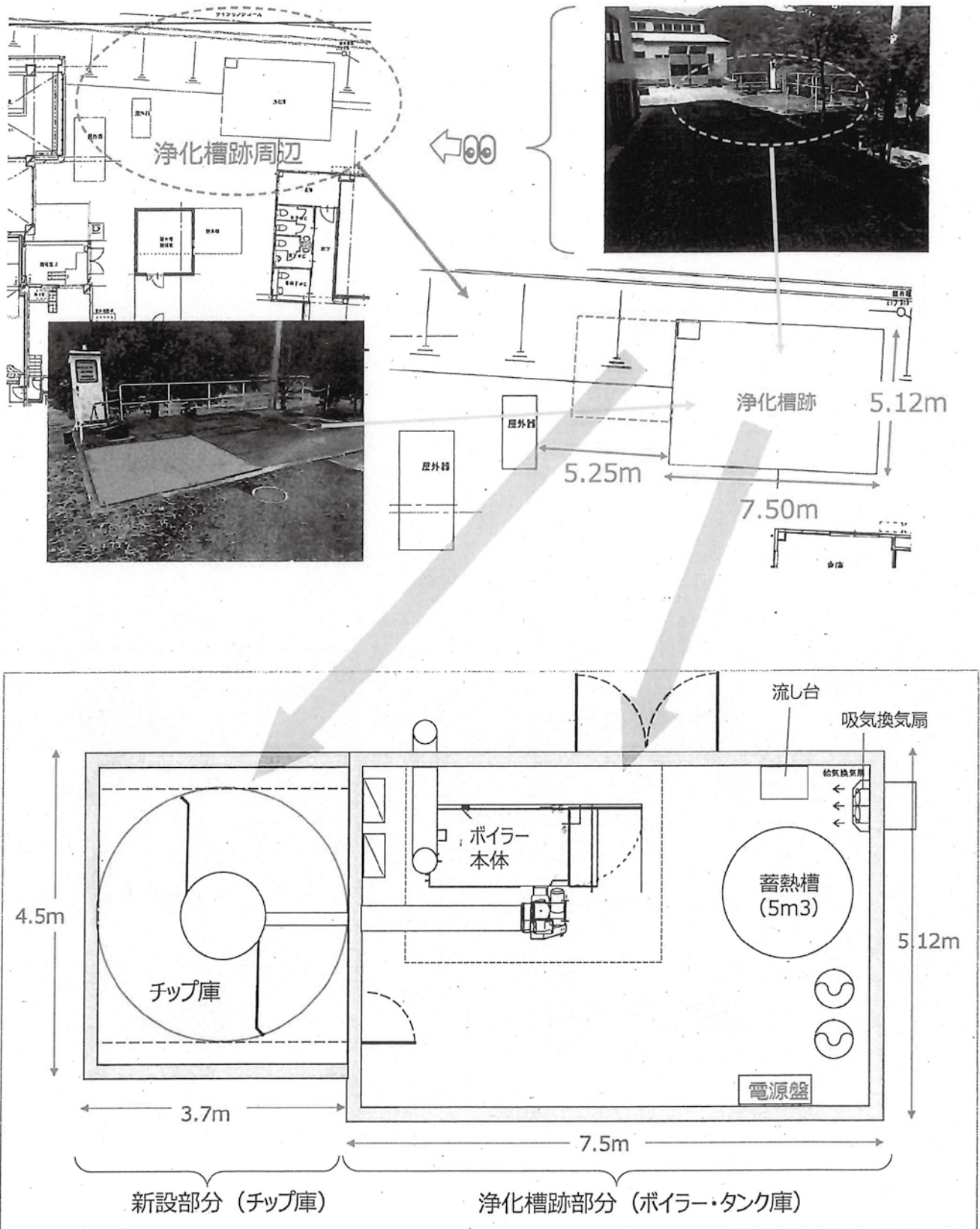
6 月 定 例 会

《議案第 32 号》生坂村一般会計補正予算【第 1 号】

反対討論：マイクログリッドの債務負担行為 8 億8800万円は費用対効果、事業の継続性を示してから出すべき。2年末公開の議会議事録作成委託料を増額し、知る権利をすぐに確保すべき。

賛成討論：3月定例会令和6年度予算連合審査委員会で対象事業費について慎重審議し本会議で決定した案件であり、その事業を計画通り進めていく上の適切な手続きとして賛成する。

令和6年度 生坂村脱炭素先行地域事業
福祉センター ボイラー・チップ庫新設工事



浄化槽跡周辺へのボイラー庫・チップ庫のレイアウトイメージ

一般質問

6月
定例会

村政そこが知りたい!!



6名の議員が一般質問



一般質問とは…「議員がフリーテーマで執行部に質問・提案を行う場」で、議員独自のカラーが出せる貴重な機会です。村民の生活に関わる様々な声を村政に届け、議論が行われます。※質問は一般事務に限ります。

7P〔上〕

ひろみち
吉澤弘迪 議員

○農業振興と土地利用について

8P〔下〕

かつあき
平田勝章 議員

○農業の現状と課題について
○村営住宅の管理内容について

7P〔下〕

ゆきえ
島 幸恵 議員

○脱炭素先行地域づくり事業について
○生物多様性保護について

9P〔上〕

のりこ
望月典子 議員

○空き家問題の今後の対応について

8P〔上〕

ふみたけ
字引文威 議員

○バイオマス木材燃料について
○太陽光発電施設のケーブル窃盗事案について

9P〔下〕

よしと
山本吉人 議員

○京ヶ倉登山など生坂村のアウトドアフィールドの
観光、レジャーの展望について

QRコードを読み込むと
一般質問が見られます



傍聴もできますので、
お越し下さい。



吉澤弘迪議員

ぶどう専業農家向け新規圃場は

振興課長

圃場整備ができそう

上生坂万平に160aほどの



問 ぶどう専業農家から新規拡大の為の新規圃場の要請と農業公社からは実習生の就農のために必要な圃場の要請があると聞いているが。

振興課長 上生坂万平常会から、ぶどう畑への圃場整備の要請があった。最適土地利用総合対策事業で利用する農地を明確にし、松本地域振興局や長野県土地改良事業団体と現地調査を実施したところ160aほどの圃場整備が実現できそうである。

問 中山間地域集落組合は補助金によって水田の環境整備、転作による荒廃地の解消に努めるが、組合員の高齢化により組合員が減少して事業を積極的に行えない状況にある。

(イ)省力化のための大型機械導入の補助支援

(ロ)都市の労働組合・大学と協定を結んで援農による農業体験事業を提案するが。

副村長 (イ)農水省の集落営農活性化プロジェクト促進事業で集落ビジョン策定を行うと農業機械購入に対しては1/2の補助があるので検討を要する。

(ロ)都市の労働組合や大学と協定を結んで、田畑の作業、収穫にお手伝いを頂

くことは新しい事業で、やまなみ荘への誘客、ふるさと納税の増加にもつながる。当村は、U・A・センセン長野支部と協定を結んでいるので協力依頼を検討したい。

問 国では、農業基本法が改正され農業の必要性について従来と異なった意味で検討されることとなった。それに従って当村の農業振興も異なった方向で検討される必要がある。

(イ)生坂農業未来創りプロジェクト会議の検討内容を道の駅の売上中心から農業の将来に向けての対応検討に変更する。

(ロ)中断している農業懇談会を再開する。以上を提案する。

村長 (イ)生坂農業未来創りプロジェクト会議で道の駅の売り上げをテーマにしたのは、農業所得・生産意欲の向上に大きく貢献しているため。

今後、農業基盤促進法の地域計画を策定するので、持続可能な農業経営について検討する。

(ロ)地域計画は毎年見直しをする必要がある。令和7年以降も地域ぐるみの話し合いは継続し全村的な農業懇談会は必要に応じて実施する。



島幸恵議員

返済できない場合の最終的な責任は誰が負うのか

副村長

会社の取締役及び役員



問 今年度、太陽光発電設備と蓄電池設置事業が、(株)いくさから平林建設(株)に委託された。事業費から環境省の交付金3億9234万3千円を引いた差額、1億6204万7千円は自社で資金調達をする。松本信用金庫から融資が受けられるか。

副村長 融資していただく予定。

問 いくさからですが金融機関に提示した詳細な事業計画は村民に開示されるか。

副村長 村政懇談会と同時開催される脱炭素説明会で説明する。

問 万が一返済ができなくなった場合の最終的な責任は誰が負うのか。

副村長 会社の取締役及び役員。

問 取締役が個人として返済するのではないと考えるが。

副村長 その時の状況で責任の取り方が異なり、株主の意見を聞く必要があり、この場で答えられない。

問 融資を受ける際、債務補償や担保は求められたか。また、増資を考えているか。

副村長 求められていない。増資は

考えていない。

問 当初予算審議当日に、多岐に渡る設備の型番が載った資料が配布された。審議をしながらそれがどのようなものかタブレットで検索し、理解するのは難しい。何か対策は。

総務課長 議案は当日机上であればよいというのが一般的な解釈。意見として受け止めできる体制を整える。

問 観光庁の第2のふるさとづくりプロジェクトに採択された。これまでの生物多様性保護の取り組みはまた、村の子ども達がネイチャーポイントプを学ぶ機会がもてないか。

村長 取り組みは特にない。子ども達にも対応できるよう進めていく。

問 松枯れ対策の空中散布をしている所も松が枯れている。散布の効果があるのか。生物多様性保護の観点からも対応を考えるべきでは。伐倒後植林などしているか。

振興課長 自然に生えるのを待つ。

意見 有機給食・農業に取り組むことで、自然環境や生物多様性の保護ができる。是非推進してほしい。



字引文威議員

バイオマス木材燃料について

総務課長 供給可能量は
およそ70年分を賄える



脱炭素先行地域事業も令和6年度に入り、調査、実施設計業務も進んでいる。5月臨時会には「やまなみ荘の木質バイオマスチップボイラー設置工事」も契約し、来年2月末に設置完了予定。本年4月より民家への木質バイオマスストーブ等の導入補助事業もスタート。

問 「村内森林調査等」の進捗状況並びに調査結果は。

総務課長 調査の結果、村内林業適地での資源量50,220立米、うち適地での広葉樹は23,400立米と約半分。ペレットだけでなく新材の活用も有効。森林整備は、脱炭素の推進だけでなく、村の地域課題であり、財政負担を配慮した継続的な構築ができるよう、慎重に事業を検討していく。

問 木質バイオマス燃料の使用施設とその規模の見通しと、その村内材供給量は何年分位の供給量が想定されるのか。

総務課長 木質バイオマス燃料を使用する施設としては、やまなみ荘に導入予定のチップボイラーの規模が大きく年間100トンから120トン。その他の公共施設、民家に導入するバイオマス燃料の暖房機器を含め年間350トン程

度の供給が必要。供給可能量はおよそ70年分を賄える。

問 森林所有者への協力依頼はどのような手続きを取っていくのか

副村長 同意手続きは、不在地主や所在不明な方の土地の確認等は、時間を要することが想定され、村内在住の皆様のご協力も必要。森林施業プランナー等の人材確保のほか、土地把握に関する関係機関の協力を頂き、手続きを進める。

問 森林整備も踏まえ、どのような場所から進められるのか。

副村長 伐採可能な場所、また村有林など、比較的早期に着手が可能な場所などをゾーニングし順次計画していく。民有林に関しては、整備が必要な優先箇所や作業が可能な箇所を選定しながら、段階的に計画していく。

問 雇用の創出として木質燃料チップ、ペレットの村内生産も考えられるか。

副村長 チップ施設を整備するのではなく民間からの購入を予定。ほか薪の需要も増えることが予想され村内ではシルバーセンターや高津屋森林公園管理組合、民間からの供給も行なわれることが期待。



平田勝章議員

村外所有者の荒廃地は
条例を作って対応すべきでは
村長 農地法の規定に基づく運用を
継続していく



問 村外者所有の農地は荒廃地となっており、条例を作るなどして対策を検討すべきではないか。

村長 農地法の規定に基づき、農地の状況調査を行い、遊休農地が確認された場合には利用意向調査を行い、農地の利用の増進が図られるよう必要な斡旋、その他農地の利用関係の調整を行い、農地法の規定に基づく運用を継続していく。

問 農業公社の今後の在り方について、生坂農業の対応に即しないことから人員確保や機械の導入を検討していかなければならないと考えるが。

振興課長 農業公社では農地の賃借、管理耕作、農作業受託、農業技術研修など、役割は大きい。将来の農地利用の在り方の明確化と共に、国や県の支援も受けながら、持続可能な方法を検討していく。

問 近隣市町村から誘客し、市民農園を開設し、農地の有効利用は図れないか。

振興課長 市民農園の開設については、農地の賃借などの課題も含めて今後検討していきたい。

村営住宅の管理の在り方について

問 村営住宅に入居する場合の契約内容は。

振興課長 村営住宅へ入居するには村営住宅入居決定書を発行し、住宅使用についての心得と、施設の修理が必要となった場合の費用負担、損害賠償について等、細かく記された書面を渡している。消耗品類や建具の小規模修理、壁紙の張替、障子の張替、給排水設備の簡易的な修理等は入居者にご負担をお願いしている。規則並びに村長の指示する事項を遵守いただくよう、入居者から連帯保証人を立てて誓約書を提出いただいている。

問 退去する場合は入居者と職員立ち合いの元で行われているか。

振興課長 退去時に入居者立会いの下、職員2名体制でチェックリストの項目ごと、細かく建物及び設備等の状況確認を行っている。入居者が行うべき修繕箇所がある場合には、その場で説明を行い了解いただいている。修繕が必要な場合は敷金から補填している。



議員 望月典子

空き家問題の今後の対応について

村長 空き家の利活用は目的、物件の状況、所有者の意向等を考慮して検討していきたい



空き家の増加が社会問題になっている。生坂も令和4年の資料によると世帯数714に対し空き家は234、北部の方が割合は高い。本村も空き家バンク、補助金の対策を講じている。

問 現時点での空き家バンク登録は何件か、その中で賃貸物件は何件か。

総務課長 令和5年の登録は11件、うち賃貸は4件で、賃貸の内訳は事業所1件住宅3件で現在は4件の売却物件が公表されている。

問 村が空き家を買って上げて公共施設、たとえば皆が寄ってお喋りしたり相談できる施設や、民泊や古民家レストランをやりたい人に貸し出すというのはどうか。交流人口増や経済効果が上がると思うが。

村長 村が購入又は借り受けした物件は併せて12件で、田舎体験ハウス、地域おこし協力隊、新規就農者住宅として利活用している。

村が空き家を買って上げた上で移住と起業のセットによる利用、公共施設としての活用は可能だが、家の状態や立地条件が判断材料にな

る。空き家の活用についてはこれまで空き家バンクを利用して頂いていたが、これに加え今年度から民間が行っている空き家のマッチングサイトを活用し、所有者と利用希望者の双方が情報提供と情報取得を出来るようにした。今後空き家の利用の幅が広がることを期待したい。

頂いた意見に関しては利用希望のニーズを把握し、利用目的、物件の状況、所有者の意向などを考慮した上で借りののか、買い取るのかも含め検討していきたい。

問 空き家活用支援チームをつくり、今後も含めた空き家利活用のために活動してもらうのはどうか。

村長 地域おこし協力隊が定期的に状況の把握や意向調査などしている。村長としては是非、Uターン者人口を増やしたいと切望している。

提言 村の商業分野が活発化すれば企業進出の可能性が出てくる。働く場が増えればUターンに繋がる。ぜひ前向きに検討をお願いしたい。



議員 山本吉人

京ヶ倉登山など生坂村のアウトドア

村長 近隣自治体や専門の企業の方々との連携は必要と考えている



問 京ヶ倉の登山道の維持管理について現在まで大城、京ヶ倉を世に出す会、生坂村観光協会が中心にしてきたと思うが、高齢化も進み若手の参入が必要と考える。今後人材確保も含め維持管理をどうしていくのか。

振興課長 京ヶ倉登山のファンの方達に会員になっていただき、維持管理作業に参加していただきながら会の存続を考えていきたい。村民の方も含め会員募集の配信も積極的に行っていきたい。

問 京ヶ倉登山のアプローチのアクセスに不便を感じている登山者が多くいる。改善等考えているのか。

振興課長 万平に車を置いて入山して下生坂に下山した場合、車まで戻るのは、国道、村道を経由して歩かなければならない。今後検討が必要と考える。

問 例えばEVカート（ゴルフ場で使われている移動車両）を使えば無人で送迎が出来る可能性がある。また脱炭素活動にも効果があると考えているか。

振興課長 その点も踏まえ検討していきたい。

問 生坂村のアウトドアフィールドの観光、レジャーを広めるためにも各自自治体や専門機関との連携が必要と考えるか。

村長 生坂村ではパラグライダーやラフティングについては専門家の指導が必要で、トレッキングやサイクリングなど、アウトドアフィールドの観光、レジャーを広めていくには近隣自治体や専門の企業との連携は必要と考えている。

問 例えばアウトドアスポーツの大手であるモンベルのフレンドエリアに登録することで、生坂村のアウトドアフィールドの観光、レジャーのPR、近隣自治体との連携も円滑に出来るかと考えるか。

村長 生坂村のアウトドアフィールドの観光、レジャーのPR、近隣自治体との連携も効果があるかと考えられるので検討していきたい。

ハチクの会に入ってから何年になりますか。
設立当初からだから25年位になるかな。
すごい！そんなに続いた秘訣は何だと思えますか。
村の特産の淡竹を生かし、



あかはね ゆうこ
赤羽 勇子さん
小立野在住
ハチクの会 副会長
女・人竹っこ倶楽部会員

自身も女・人竹っこ倶楽部で活躍中の望月議員がインタビューしてきました！

商品にして皆に知ってもらおう
仕事にやりがいを感じた事と、
気の合う仲間たちに巡り合え
て楽しい時間を過ごせたから。
米や野菜を沢山つくっているし、
本業は農家とっていいですか。
はい。毎日周りの鳥たちの澄
んだ鳴き声に癒されています。
健康には気を付けているよう
ですね。带状疱疹ワクチンの
予防接種も受けてますよね。
あれは口惜しかったナア。
だって私が接種を終わったす
ぐ後に、補助金が下りること
が決定したんだから（笑）
趣味は何ですか。
マレットゴルフ、卓球、書道。
ゴルフはとても上手だと皆さ
んが言ってますよ。
村や地区の大会によく参加
していて優勝したこともあり
ます。
今後の抱負をひとつ。
淡竹を生かした新商品を皆
で開発していくこと、そして
サブリーダーとして皆をまと
め、仕事場の今の楽しい雰
囲気を守っていくことです。
ありがとうございます。応
援しています。

議会改革検討会

これまでの検討会では、村民に
議会を知ってもらう施策や、なり
手不足の解決に向けた意見を出し
合い、当議会初となる模擬議会と
中学生議会の開催・議員資質の向
上を目的とした政策工程シートの
作成・報酬改定・談話室「山彦」
の開設・消火栓ペイント作業と
様々な施策と活動を行ってきました。
現在では出張「山彦」・報酬・
なり手不足等を議題として、現状
に併せた変化、また新たな施策な
ど検討を進め話し合いを続けている
最中です。引き続き座長を中心に
しっかりと議論をして、課題解決で
きるよう進めてまいります。

表紙の写真のお願い

議会だよりの表紙の写真
は、イベント等で議会編集
委員が撮影した写真を許可
なく掲載をする場合があります
ますが、掲載許可のご協力
をお願い致します。

編集後記

今年の春先は遅霜も無くぶど
うや梅などの果樹の生育は順調
のようですが、農業を取り巻く
環境は高齢化などで遊休農地が
増えている現状があり、問題解
決にはまだまだ時間がかかりそ
うです。

議会だより編集時いつも思う
のだが、作る方は如何に読みや
すくをモットーに編集を心がけ
ているのだが、読み手の立場の
皆さんはどんなことを思っ
て読んでおられるのか、感想を聞
きたいと思っています。

（平田勝章）

編集・発行責任者
議長 太田 譲
編集委員

委員長 藤澤 幸恵
副委員長 宇引 文威
委員 島 幸恵
平田 勝章
山本 吉人